

§ 1 事業の概要

§ 1 事業の概要

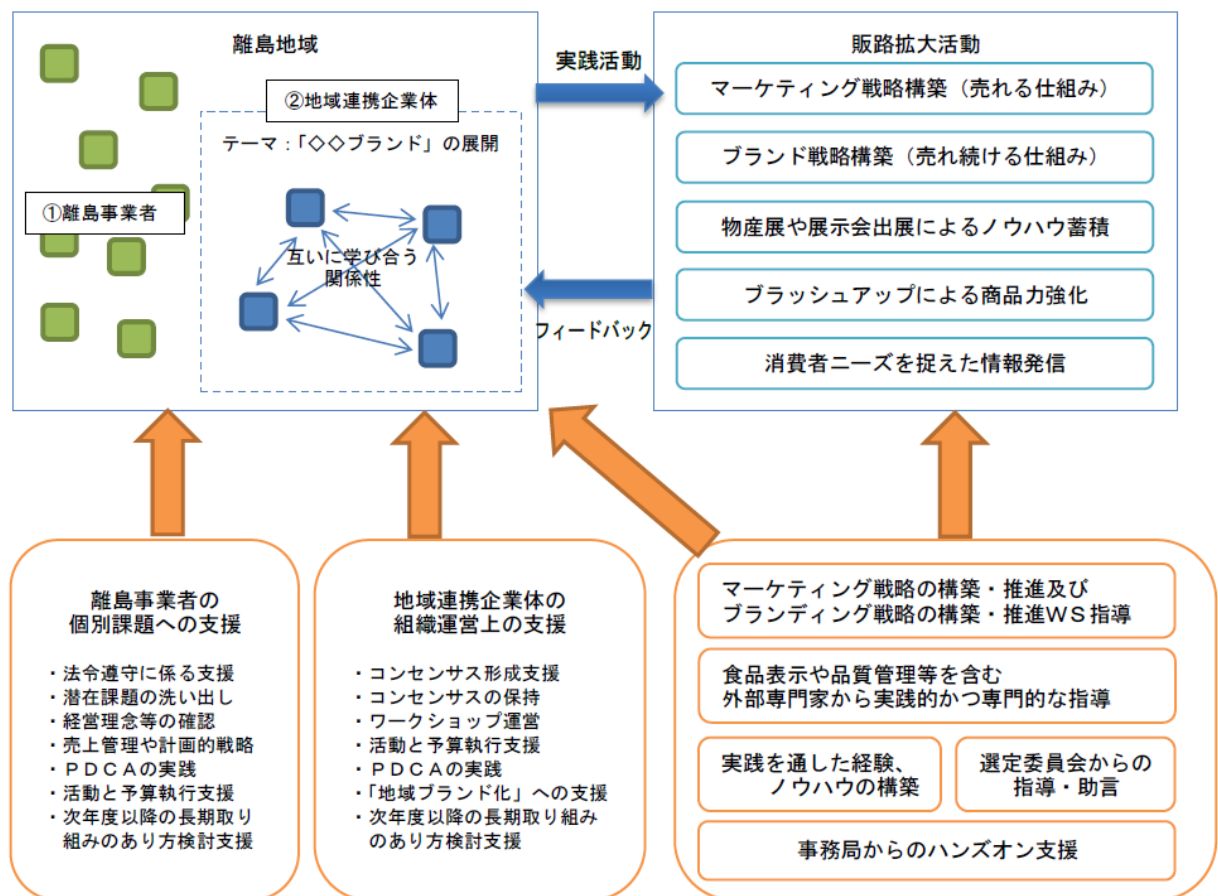
1. 事業の目的

多くの不利性を抱える離島地域における特産品等の販路拡大を促進し、離島における産業の振興を図るため、「令和4年度 離島特産品等マーケティング支援事業」（以下「本事業」という。）を実施した。

これまでに開発された離島の特産品等を対象として、受託業者及び外部専門家による支援等を行うことで、離島地域の企業等において販売戦略を構築するとともに、これを実施できる人材を育成することにより、当該特産品等の販売拡大を促進し、産業の振興を図ることを目的とする。

具体的には、「個別離島事業者」と「地域連携企業体」の2タイプの補助事業者に対し、販売戦略の構築・実施等について、外部専門家による支援・助言を行うとともに、ICTを活用した販路拡大支援等を実施した。

図表 1 - 1 活動支援のイメージ



2. 事業の内容

本年度の補助事業者は、昨年度中に選定された個別離島事業者6者、地域連携企業体2団体に対し、支援を行った（図表1-2）。

各補助事業者に対しては、事業計画に並走するコーディネーターを配置し、現状課題の整理及び目的・目標の設定による成果の可視化、ハンズオン支援による多種多様な課題への柔軟な対応を行った。また、顕在化した課題への対応策はもちろんであるが、後に足元を揺るがす可能性のある潜在的課題に対しても、課題に合わせて外部専門家も交えたハンズオン支援を実施した。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、都道府県をまたぐ移動の制限や各種イベントの開催中止が相次いだことから、補助事業者に対し ICT を活用した販路拡大に注力できるよう支援を行った。

選定委員会（成果報告会）では、活動の総括として、本事業を活用して製作した成果品の展示を行うとともに、補助事業者の成果に対する評価と今後のブラッシュアップに繋がる助言等を行った。

さらに、継続審査会及び次年度（令和5年度）の新規提案選定委員会を実施し、継続及び新規の補助事業者を同時に審査・決定を行った。このことによって、継続の補助事業者については切れ目のない活動の実施、新規の補助事業者については活動開始時期の早期化による効果的な活動の実施が見込まれる。その際、継続及び新規の提案を区別なく審査を行うことで、継続を希望する事業者については、採択されるためには一定の成果を上げることが求められる状況となった。

図表1-2 補助事業者の一覧

◆個別離島事業者型

No.	個別離島事業者名	地域（島）	テーマ
1	特定非営利活動法人来間島大学 まなびやー	来間島	来間島みきワークショップおよびスパウトパウチみきの販路拡大事業
2	スイーツフーズ久米島株式会社	久米島	おきなわ県久米島の紅芋を全国へ
3	農事組合法人石垣島海のもの山 のもの生産組合	石垣島	島のスパイス調味料の使用方法を EC サイト&パンフレットでわかりやすく説明し顧客の購入意欲アップを目指す
4	いもともや食品加工所	宮古島	紅芋甘糰・発酵紅芋の品質向上およびパッケージデザインの改良
5	久米島赤鶏牧場	久米島	個人消費者向け販売力の強化と新規販路開拓
6	種水土花	伊平屋島	広いニーズの顧客を取り込むためのホームページ製作とカタログのブラッシュアップによる情報発信強化と販路拡大

◆地域連携企業体型

No.	地域連携企業体名	連携する地域（島）	テーマ	構成員
1	八重山藍振興組合	石垣島・西表島・与那国島	八重山藍の復興と振興	SAKURA YONAGUNI
				工房 藍夏
				福ん黄
2	伊良部島もずくブランド化共同体	宮古島・伊良部島	伊良部島もずくの魅力発信	株式会社郷家
				伊良部島もずくパラダイス合同会社
				マリンスプロ宮古

3. 事業の執行体制

(1) 外部専門家の選定

外部専門家については、離島における特産品等の販路開拓を進める上で重要な4分野（①経営・地域経済、②品質管理・食品表示・商品開発、③販路開拓、ICT・ECの活用、④マーケティング・ブランディング）の専門家を選出した。

これらの専門家の中から個々の補助事業者のニーズに応じて外部専門家の派遣を行った。

(2) 「成果報告会」の設置及び運営

以下の3つの役割を担う機関として「成果報告会」を設置、運営した。

- ① 補助事業者・商品について、市場訴求力、提案の有効性、実効性及び所在離島地域への波及効果という軸を中心に、専門的・客観的・実践的な視点からの的確に評価すること。
- ② 成果報告会の場を通して個々の補助事業者に直に指導・助言をすること。
- ③ 本事業全体の具体的な改善課題等について、問題提起や方向づけを行うこと。

(3) 「選定委員会」の設置及び運営

以下の2つの役割を担う機関として「選定委員会」を設置、運営した。

- ① 応募事業者・商品について、市場訴求力、提案の有効性、実効性及び所在離島地域への波及効果という軸を中心に、専門的・客観的・実践的な視点からの的確に評価し、令和5年度の補助事業者を選定すること。
- ② 2年目の継続支援を希望する事業者の活動計画に対し、適切な助言をし、支援継続の可否を審査するとともに、令和5年度の補助事業者（候補）を決定すること。

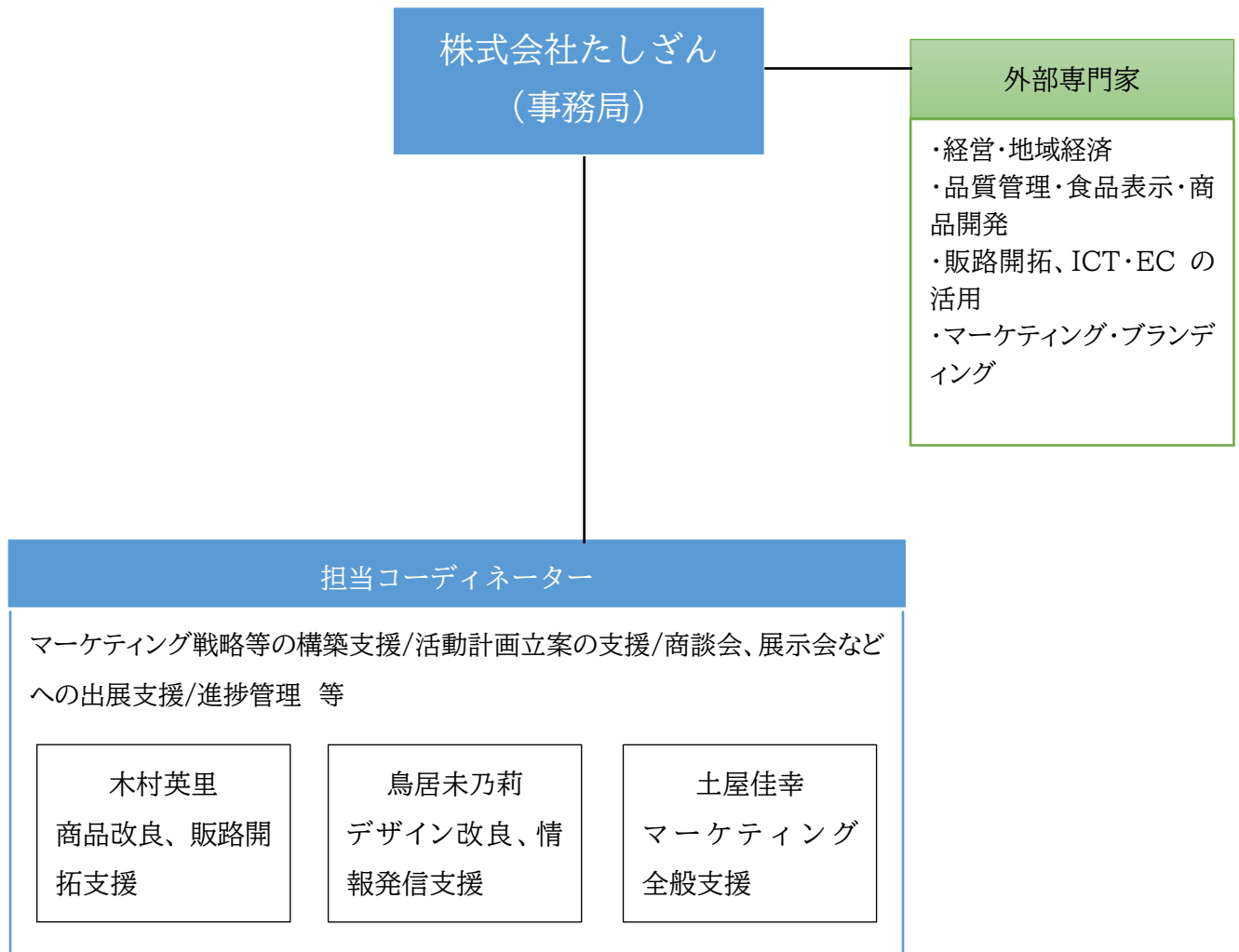
以上の役割から「選定委員会」は選出した5分野の外部専門家に加え、県内において準公的な立場から事業者支援に携わっている支援団体の代表者等により構成した（図表1-3）。

図表1-3

	氏名（敬称略）	専門分野	所属及び役職
委員長	鈴木 和久	経営・地域経済	株式会社未来創造研究所 CEO 中小企業庁よろず支援拠点コーディネーター
委員	親川 進	中小企業指導	沖縄県商工会連合会 専務理事
委員	小林 健祐	特産品（食品）	株式会社リウボウ商事 第2事業部 部長
委員	椿 玲子	特産品（工芸品）	森美術館 キュレーター
委員	土屋 佳幸	マーケティング・ブランディング	株式会社博報堂 クリエイティブディレクター
委員	井本 憲史	IT・eコマース	株式会社シフトセブンコンサルティング 代表取締役社長
委員	山里 永悟	地域・離島行政	沖縄県 企画部 地域・離島課 課長

(4) 事業推進体制

本事業では、(株)たしざんが事務局を担った。各補助事業者がそれぞれの事業実施計画を着実に推進することができるよう、本事業での支援を行うために、各種分野での必要な知識や経験を有し、事業者に寄り添い並走することが可能な担当コーディネーターを配置し、ハンズオンによる重点的な支援を実施した。さらに「外部専門家指導」及び「選定委員会」における実践理論面の指導・助言を行うことで、本事業の推進体制の充実を図った。



§ 2 支援の概要

§ 2 支援の概要

1. 支援の全体的枠組み

(1) 支援の概要

本事業の支援の概要は、図表 2-1 に示す通り、離島市町村（本部町、うるま市及び南城市の離島を含む）の個別の「離島事業者」や、離島事業者 3 者以上が連携した「地域連携企業体」を対象に、これまでに開発された離島特産品等を「離島ブランド」として確立するための、販売戦略の構築・推進を支援し、それに係る費用の一部を助成するものとなっている。

図表 2-1 本事業における支援の概要

支援内容	<p>① 対象となる「離島ブランド」の販売戦略の構築、推進のためのハンズオン支援</p> <p>② 対象となる「離島ブランド」の販売戦略の構築、推進にかかる費用の助成</p> <p>※1件につき、補助対象経費の 10 分の9以内を沖縄県が直接助成 (個別離島事業者型 上限 108 万円、地域連携企業体型 上限 405 万円)</p>
支援対象	<p>【個別離島事業者型】 離島に本社や事業所を有する法人企業、個人事業者、協同組合等事業者の団体、特定非営利活動法人、その他法人格を有しない地域活動グループ等で、離島で特産品等を製造・販売していること。</p> <p>【地域連携企業体型】 上記に該当する離島事業者 3 者以上を構成員とする団体であること。 尚、自治体、商工会、観光協会または地域活性化団体等の地域の核となる団体が、地域連携企業体の代表又は構成員となることも可とする。</p>
支援件数	個別離島事業者6者、地域連携企業体2団体
支援期間	交付決定日：令和4年6月29日(水)～令和5年2月28日(火)

尚、本事業による補助は2年目までであり、令和4年度の支援を希望する補助事業者については、令和4年3月に実施した継続審査会において継続支援の可否を決定した。2年目の補助率は 10 分の8以内となり、補助の上限額も減額となる。

(2) 支援対象となる事業者の要件

本事業の支援対象となる事業者は、以下の要件をすべて満たしている必要がある。

- ①本事業を的確に遂行する能力を有し、かつ、本事業の遂行に必要な組織人員を有していること。
- ②本事業に係る経理その他の事務について、適正な管理体制及び処理能力を有していること。
- ③事業遂行にあたっては、応募者が主体性をもって知識等の習得や事業活動に取り組み、外部専門家や担当コーディネーターと連携する姿勢があること。
- ④本事業の目的である販路拡大の効果・成果を図る指標の「新規取引先増加数」の目標達成に向け、積極的な事業活動に取り組む姿勢があること。
- ⑤離島事業者ならびに地域連携企業体に属するすべての者が、県税等を滞納するなど法令に抵触していないこと。

- ⑥沖縄県暴力団排除条例第2条第2号に規定する暴力団員又は暴力団員と密接な関係を有する者に該当しないこと。
- ⑦補助事業に必要な事業許認可や免許等を取得済みで、PL 保険に加入していること。
- ⑧離島特産品等マーケティング支援事業による支援を累計して2年受けた連携体及びその構成員ではないこと。ただし、販路拡大に向けたマーケティング活動に関する新たな課題に取り組む必要があるなど、特段の事情が認められる場合には、この限りではない（最終的に、選定委員会において特段の事情があることが認められる必要がある）。
- ⑨本事業において提案する商品・サービスについて、本年度同様の内容で、他の公的な補助支援を受けているものでないこと。

(3) 支援対象となる「離島特産品等」の範囲

本事業の支援対象となる「離島特産品等」とは、以下の①～③であり、支援する「離島特産品等」は、離島事業者1者につき（地域連携企業体の場合は1構成員につき）、「1商品」（または「1つの商品ラインナップ」）である。

①特産品・・・次に掲げる条件のうちいずれか一つを満たす物

- ア. 離島に所在する製造拠点において、製品としての主たる加工等が施されている物。ただし、製造拠点が離島にあるだけで、本社等の所在地、販売元の所在地及び主原料の産地が全て離島外の場合は、この限りではない。
- イ. 製造拠点が離島外に所在する場合であっても、本社等の所在地、販売元の所在地及び主原料の産地が全て離島内にある物

図表2-2 対象となる特産品等の該当パターン

本社所在地	製造拠点	販売元所在地	主原料の産地	判定	対象	パターン
島内	島内	島内	島内	○	(ア)	1
			島外	○	(ア)	2
		島外	島内	○	(ア)	3
			島外	○	(ア)	4
	島外	島内	島内	○	(イ)	5
			島外	×		6
		島外	島内	×		7
			島外	×		8
島外	島内	島内	島内	○	(ア)	9
			島外	○	(ア)	10
		島外	島内	○	(ア)	11
			島外	×		12
	島外	島内	島内	×		13
			島外	×		14
		島外	島内	×		15
			島外	×		16

②民芸品・伝統工芸品・・・離島において生産若しくは収穫される材料等を用いて製造される物又は
離島において伝統的に製造されている物

③観光商品・・・離島事業者によって離島への誘客を促進するために造成された観光メニュー

(4) 支援の全体像

本事業の狙いの柱は、ブランディング及び販路開拓活動を通して、支援対象の商品やサービスの「売りがつくれる」ようになるための実践的な知識やノウハウを習得してもらうこと及び販売（「売り」）そのものを支援することの2つである。

(5) 具体的な支援メニュー

本事業における補助事業者への支援活動の内容（メニュー）は以下の通りである。物産展への出展や商談などの活動現場でのハンズオン支援まで、個々の活動計画に応じて必要な内容で適宜支援を実施した。

① 担当コーディネーターによるマーケティング戦略構築・推進及び販路開拓へのハンズオン支援

各プロジェクトに担当コーディネーターを配置し、それぞれの課題解決に向けた支援を行うとともに販路開拓等を支援

② ワークショップによる実践的な知識・技術の習得支援

各プロジェクトの課題解決にあたり、具体的なアプローチ方法を習得しつつ、解決策を実践に落とし込み事業を推進するため、また、地域連携企業体においては、離島ブランドの構築に向けた合意形成を図ることを目的に、少人数制でのワークショップ（オンラインミーティング）を実施

③ 品質管理や食品表示などの法令遵守へのハンズオン支援

専門家と連携し、法令を遵守した食品表示が可能となるよう、ハンズオン支援を実施

④ 外部専門家による現地指導・助言

各プロジェクトが抱える課題や、事業推進にあたって必要とする分野の専門家をマッチングして現地へ派遣し、それぞれのニーズに沿った個別指導及び助言等を実施

⑤ 関係各機関との関係構築などへの支援

継続的に活動を展開していけるよう、各種支援機関や取引先等との関係構築を支援。また、組織として自走できる体制の構築を支援

⑥ 補助金関連の書類作成等にかかるハンズオン支援

交付申請及び活動報告に係る各種提出書類の確認、選定委員会におけるプレゼンテーションに対する助言、補助金の適正な執行に係る報告書の作成及び証憑類の管理等に関する指導

等の実施

⑦ 補助事業者毎のマーケティング活動に対する各種支援

ア. ブランドロゴやキャッチコピー等の制作、各種販促ツールの作成支援

個別離島事業者の商品群のブラッシュアップや、地域連携企業体が構築する「離島ブランド」のロゴ等の制作、普及活動や補助事業者の販売促進活動に使用する各種ツール類（タペストリー、のぼり、ブランドブック、リーフレット等）の作成に係る、専門家や適正な外注先などをコーディネート

イ. 商品パッケージ、表示等の改良への取組み支援

市場調査の実施結果や外部専門家からの指導等を踏まえて、パッケージや表示等の改良を行うことを決定した補助事業者に対し、専門家や適正な外注先などをコーディネート

ウ. 物産展・イベント・卸商談会等への出展支援

「離島フェア」、「スーパーマーケット・トレードショー」、「エコプロ」など、物産展・イベント・卸商談会等での活動を支援

エ. テスト販売・市場調査支援

ターゲットを想定した実店舗等でのテスト販売や、消費者ニーズ把握等の市場調査に対する、担当コーディネーターによるハンズオン支援

オ. 各種プロモーション活動の実施への支援

広報等のプロモーション活動に対して、メディアへの情報発信やプレスリリース作成等を支援

カ. 販路開拓支援

補助事業者の取引先開拓への実践的な手法の助言や、営業活動への同行支援等を実施

⑧ ふるさと納税返礼品登録における支援

補助事業者がふるさと納税返礼品事業者として未登録の場合、または対象商品を返礼品として未登録の場合は、登録へ向けた各種申請支援を実施

2. 具体的な支援内容

(1) 外部専門家による指導

外部専門家による指導の実施概要を以下にまとめた。外部専門家による指導を希望する補助事業者は、個別離島型事業者2者、地域連携企業体型事業者1団体となった。詳細については、§3の「活動報告」に記載する。

図表2-3 外部専門家による指導の実施概要

<個別離島事業者>

事業者	指導日	外部専門家	指導内容
特定非営利活動法人来間島大学まなびやー	R5. 2/24 ~2/25	牧 真理子 (暦-KOYOMI-)	・みき製造の技術指導等
種水土花	R5. 2/26	山下 賢太 (東シナ海の小さな島ブランド株式会社)	・離島での店舗運営と地域づくり

<地域連携企業体>

事業者	指導日	外部専門家	指導内容
伊良部島もずくブランド化共同体	R4. 11/30 ~12/10	冷水 希三子 (料理研究家)	・もずく丼の素のレシピ指導

(2) 成果報告会及び選定委員会による助言・指導

年度末に成果報告会及び選定委員会を開催した。成果報告会においては、補助事業者の今年度活動の総括として活動報告を行うとともに、委員より今後の活動等に関する助言を行った。その具体的な内容については§3「成果報告会での評価・助言」に整理をした。選定委員会においては、継続審査及び令和5年度補助事業者の選定を行った。その詳細については、§4に記載する。

図表2-4 成果報告会及び選定委員会の開催概要

会議名	開催日	会場	内容
成果報告会	R5. 2/15	沖縄県市町村 自治会館 第7会議室	・補助事業者による成果報告
選定委員会 (令和5年度補助事業)			・今後の活動に関する助言 ・令和5年度補助事業者(対象商品含む)の選定 ・活動計画及び提案内容に対する助言

§ 3 補助事業者の活動

§ 3 補助事業者の活動

1. 活動の概要

(1) 各事業者の活動概要の整理

離島ブランド構築を核とした販路開拓の実践的な知識やノウハウを習得してもらうために、対象事業者に対し、外部専門家からの現地指導や遠隔指導等を行うとともに、イベントの企画等に際して、担当コーディネーターによるハンズオン支援を行った。また、自らの気付きと実経験などを通して学んでもらうことを重視し、実践後の振り返りや検証・改善に繋がるよう適宜、支援を行った。

以下に各事業者の取組ポイントと概要について整理する。なお、より具体的な実施内容や成果については、次節に事業者ごとに取りまとめた。

(2) 補助事業者のブランド構築及び展開

本事業では、担当コーディネーターによる個別のハンズオン支援を中心に実施し、必要に応じ外部専門家による指導・助言を行った。その中で、各事業者が行う販路開拓に係る活動については、それぞれのブランドコンセプトをもとにした販促ツールやパンフレット等の制作、インターネットを活用した情報発信や販路開拓の手法等について助言・指導を行った。

各事業者のブランド構築及び展開の成果を図表3-1に、販路拡大件数及び販売実績を図表3-2に整理する。

図表3-1 補助事業者の活動一覧

<個別離島事業者>

事業者名	支援対象	ブランドロゴ制作	商品改良	パッケージデザインの改良	食品表示の改訂	リーフレット等の制作	動画制作	HP制作	展示会等出展	商談	専門家招聘
特定非営利活動法人来間島大学まなびや	加工食品 体験商品		○	○	○	○	○	○	○	○	○
スイーツ久米島株式会社	加工食品			○				○	○	○	
農事組合法人石垣島海の山のもの生産組合	加工食品					○		○	○	○	
いもともや食品加工所	加工食品	○	○	○	○	○			○	○	○
久米島赤鶏牧場	加工食品							○	○	○	
種水土花	工芸品 体験商品					○		○	○	○	○

<地域連携企業体>

企業体名	支援対象	ブランドロゴ制作	商品改良	パッケージデザインの改良	食品表示の改訂	リーフレット等の制作	動画制作	HP制作	展示会等出展	商談	専門家招聘
八重山藍振興組合	工芸品		○			○	○		○	○	
伊良部島もずくブランド化共同体	加工食品体験商品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和4年度の支援対象商品は、大別すると加工食品、工芸品、体験（観光）商品に分類することができる。コロナ禍において実店舗や展示会等の対面販売の機会が減少しているなかで、ECサイトやオンライン体験といったインターネットを活用した活動が必要とされた。

ブランドロゴ、パッケージデザイン、リーフレットの改良等によるリブランディングを通じて、事業や商品コンセプトの伝え方の整理を行ったことで、ブランド力が向上し、商談や営業、販路開拓へ繋がった。情報発信についても、ホームページの情報拡充や、動画制作を通じてオンラインでの発信力の強化を図った。専門家招聘については、感染状況や指導内容に応じてオンラインと対面を併用し、指導・助言、勉強会等が行われた。

図表3-2 補助事業者の販路拡大件数及び販売実績

<個別離島事業者>

事業者名	成約件数	成約見込	調整中	計	出荷額
特定非営利活動法人来間島大学 まなびやー	11件	0件	1件	12件	1,281,600円
スイートフーズ久米島株式会社	15件	10件	0件	25件	64,200円
農事組合法人石垣島海のもの山のもの生産組合	14件	0件	0件	14件	160,000円
いもともや食品加工所	6件	2件	0件	8件	208,250円
久米島赤鶏牧場	1件	0件	0件	1件	51,000円
種水土花	21件	0件	0件	21件	982,260円
計	68件	12件	1件	81件	2,747,310円

<地域連携企業体>

八重山藍振興組合

事業者名	成約件数	成約見込	調整中	計	出荷額
SAKURA YONAGUNI	19 件	0 件	0 件	19 件	525,000 円
工房 藍夏	8 件	0 件	0 件	8 件	457,300 円
福ん黄	16 件	0 件	0 件	16 件	303,500 円
計	43 件	0 件	0 件	43 件	1,285,800 円

伊良部島もずくブランド化共同体

事業者名	成約件数	成約見込	調整中	計	出荷額
株式会社郷家	3 件	0 件	0 件	3 件	100,800 円
伊良部島もずくパラダイス合同会社	1 件	0 件	0 件	1 件	12,580 円
マリNZプロ宮古	2 件	0 件	0 件	2 件	20,000 円
計	6 件	0 件	0 件	6 件	133,380 円

令和4年度： 合計 130 件、4,166,490 円